

28年度 文教民生常任委員会 視察 報告書

京都府八幡市（洛和桂小規模保育園、八幡幼稚園）

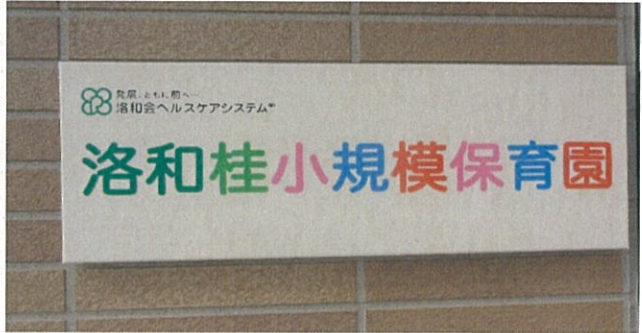
平成 29 年 2 月 13 日（月）

【洛和桂小規模保育園】

- ・ 洛和会ヘルスケアシステムが母体となり、医療法人社団、社会福祉法人、学校法人を運営している。
- ・ 桂小規模保育園は、介護型グループホーム（認知症）と併設された小規模保育園である。建物は、土地所有者が建てたものを30年間のリースとしている。家賃は、約90,000円/月。内装や床暖は、洛和会が工事発注。
- ・ グループホームの定員は18名（1階9名、2階9名）、小規模保育園の定員は19名（0～2歳児）。
- ・ 人口が減少したときには、この小規模保育園は消滅すると考えている。その場合、訪問介護などの拠点として活用する予定でいる。
- ・ 保育士は園長を含め6名、調理員が1名在勤している。ただし、1名は異動を希望しない保育士のため、非常勤として勤務している。
- ・ ほぼ毎日、10時ごろから子どもとお年寄りの交流を行っている。基本的な時間は定めていないが、1時間以内となることが多い。
- ・ 感染症が発生したときは、交流を行わないようにしている。
- ・ 日常の保育の中で歌や踊りを覚えるが、発表の機会がないため、お年寄りの前で行うことが発表の場として捉えている。
- ・ 子ども達も笑顔になるが、お年寄りの生きがいにもなっているようだ。このお年寄りの笑顔は、介護士では引き出せない笑顔である。
- ・ 交流の場を保護者が見学する機会はないので、玄関に写真を展示するようにしている。
- ・ お年寄りと交流できるので保育園に入りたいと言う人はいないが、子どもと交流できるのでグループホームに入りたいと言う人は多い。
- ・ 保育士の年収は、30歳平均で300万と言われているが、洛和会では430万円となっており、滋賀県などから保育士登録を希望する人が多い。
- ・ 直営の認可保育園以外にも、指定管理者制度による保育園の経営をしているが、特別な事業を展開しているわけではない。公立の保育サービスをそのまま引き継いだけである。

【八幡幼稚園】・・・KidsView

- ・平成25年度に文部科学省の委託事業として取り組みが始まり、平成28年度で4年目となる。
- ・八幡市は、福祉部次長 兼 教育部付次長として、保育園と幼稚園の両方を管轄している。
- ・このシステムは、日本標準教育研究所が作成したシステムであり、クラウドを利用している。
- ・職員室にパソコンを1台、保育室にはタブレットを配置している。タブレットは3年間リースの後、買い取りをした。
- ・基本的には、手書きによる事務作業時間を、KidsViewを活用することで時間の短縮を図るものである。
- ・出欠簿や発達状況の一覧などの作成の必要がなくなった。もともとは手書きで対応していた。
- ・登降園管理はもちろんのこと、発達状況のチェックができるシステムになっている。
- ・発達状況のチェックは、気づいたときに入力するものであり、必ず全項目・全児童に入力する必要はない。
- ・発達状況の結果は、保護者には公開していない。これは、悪いことばかりが目立つ可能性があるからである。
- ・気付いたことをコメント入力できるようになっており、そのコメントを学期末に発行する保育だよりや指導要録に活用できるようになっている。
- ・指導計画は、全国どこでも使用できるようなデータが入っており、指導計画を作る時間も削減できている。ただし、そのまま月案として利用するため、内容の変更は生じている。
- ・保護者の反応はない。入園式に説明し、保育だよりも発行しているが、このシステムに対する意見は上がってこない。
- ・発達状況の入力時に加配職員とコミュニケーションが図れるようになったが、その後、データの活用によるコミュニケーションがある訳ではない。
- ・年度切り替え時の児童データ入力は、職員が行っている。



H29.2.13
文教民生常任委員会視察

